

## 使用説明書

使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。



### 動物用医薬品 “京都微研” 日本脳炎ワクチン・K 日本脳炎（アジュバント加）不活化ワクチン

#### 製法及び性状

本剤は、培養細胞で増殖させた日本脳炎ウイルスをホルマリンで不活化し、リン酸アルミニウムゲルを加えた不活化ワクチンである。

本剤は帯赤黄色の液体で静置すると白色の沈殿を生ずるが、振盪すれば白濁不透明の均質な懸濁液となり、pHは6.8～7.2である。

#### 成分及び分量

ワクチン 1バイアル (20mL) 中			
鶏胚細胞培養日本脳炎ウイルス中山株薬検系 (不活化前ウイルス含有量)	10 <sup>8.5</sup>	TCID <sub>50</sub> 以上	
ホルマリン	20	μL	
りん酸三ナトリウム (12水)	160	mg	
塩化アルミニウム六水和物	100	mg	
精製水	残量		

#### 効能又は効果

馬の日本脳炎の予防

豚の日本脳炎ウイルス感染による死産の予防

#### 用法及び用量

##### A. 繁殖豚に使用する場合

(1) 日本脳炎生ワクチンとの併用注射法

第1回	第2回
“京都微研” 日本脳炎ワクチン	“京都微研” 日本脳炎ワクチン・K
1ドース 皮下注射	2mL 皮下注射

第1回と第2回の注射間隔は約1か月とする。

(2) 前年度に“京都微研” 日本脳炎ワクチンを注射した豚では2mLを皮下注射する。

##### B. 馬に使用する場合

(1) 2回注射法

第1回	第2回
1mL	1mL
	皮下注射

第1回と第2回の注射間隔は1週間とする。

(2) 1回注射法

3mL	皮下注射
-----	------

#### 使用上の注意

##### 【一般的注意】

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。

##### 【使用者に対する注意】

- 誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。
- 事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等を着用すること。

#### 本ワクチンの成分の特徴

抗原	アジュバント			
	微生物名	人獣共通感染症の当否	微生物の生死	有無 種類
日本脳炎ウイルス		当	死	有 リン酸アルミニウムゲル

本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 微生物化学研究所 営業部  
〒611-0041 京都府宇治市横島町24、16番地  
TEL: 0774-22-4519  
FAX: 0774-22-4568

#### 【豚及び馬に対する注意】

##### 1 制限事項

- 本剤の投与前には健康状態について検査し、重大な異常（重篤な疾病）を認めた場合は投与しないこと。
- 豚及び馬が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
  - 発熱、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。
  - 疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。
  - 交配後間がないもの、分娩間際のもの又は分娩直後のもの。
  - 明らかに栄養障害があるもの。
- 本剤の投与後、激しい運動は避けること。
- 本剤の投与後、少なくとも2日間は安静に努め、移動等は避けること。

##### 2 副反応

- 副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 馬においては本剤投与後、投与部位に腫脹、硬結等が認められる場合がある。

### 3 相互作用

本剤には他の薬剤を加えて使用しないこと。

### 4 適用上の注意

- (1) 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- (2) 注射器具（注射針）は原則として1頭ごとに取り替えること。
- (3) 注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。
- (4) ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に扱うこと。

#### 【取扱い上の注意】

- (1) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- (2) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- (3) 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- (4) 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
- (5) 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切る場合があるので注意すること。
- (6) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (7) 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

#### 【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。

#### 貯法及び有効期間

- 1 遮光して、2～10℃に保存すること。
- 2 有効期間は2年間（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）

#### 包装

1バイアル 20mL

項目	内容	備考
性状	透明無色	
内容量	20mL	
有効期限	2年間	最終有効年月は外箱及びラベルに表示
保存法	2～10℃に遮光して保存	

#### 【薬剤の性状に関する事項】

製造販売元



株式会社 微生物化学研究所  
京都府宇治市横島町24、16番地

27031600B  
J-TCV®